が農民の幸福の欺瞞に過ぎない事は言う迄も無い。国民大衆党は代議士倶楽部中心の地方政党として結成されたもので労農大衆の政治闘争のために結成されたものではない。其の党には何等の政策目標も無く、ブルジョア的野心が有るのみである。

但同盟の新政党は『紙右翼』のみの結成完全なる『右翼聯盟計画』の上に立たれんとするものである。階級闘争を否定し『無抵抗主義』ブルジョア自由主義を結集してつくられつゝあるものである。之は幸ひ之迄の右翼指導者の意識的反動化への進出を意味するものであって今や全国的に労農大衆の階級的闘争を撲滅せんとするものであり右翼指導者の右翼的政治闘争への転向である。之等三政党は次に労農大衆の戦線統一破壊の反動的に意識化されたものであり単なる右翼結成から反動的紙右翼の結成へ向ひんとするための結成であり今や到る處に於て労農大衆に肉迫せんとするブルジョア的反動体である。アエロ之等は階級闘争否定し合法無抵抗を振りかざして労農大衆の闘争に対抗せんとするものである。彼等の唱ふる『社会的公正』は階級闘争否定の欺瞞的表現に外ならない。而して之等は代議士中心の政党であり其の点に於て何等ブルジョア政党と異ふ所はない。何故なら彼等自身がブルジョア乃至ブルジョア自由主義者であったための闘争統一破壊を積極的に進める事に依って組合を分裂せしめ単一政党への要求を以て完全に労農大衆をブルジョアに奉りつけんとした。

以上の理由によって之等のブルジョア党は決して無産大衆の政治的自由を闘いとり得るのみでなく却って無産大衆の内部に意識的に喰ひ入ってくる意識的反動体に外ならず或は餓狼にも明瞭である。之等は斯くのブルジョア党を徹底的に倒壊せしめねばならぬ事大衆の政治的発展を期待する事は出来ない。之等は所謂ブルジョア党を積極的に排除せんとするものである。

一九三六年十月十日

統一運動同盟